

食器回収の「なぜ？」にお答えします

◆なぜ？ その1

どうして割れた食器でもいいの？



答え

割れていても、欠けていても構わないのは、回収した食器を粉砕するからです。ただし、粉々になっている破片は、もともとの姿や用途を確認できないため、不燃ごみに出してください。破片の大きさがおよそ2センチ以上の場合には、回収対象にしています。ケガをしないようお持ちください。

◆なぜ？ その2

どうして汚れているとダメなの？どうせ粉にするんでしょ！



答え

エコにこセンターで回収した陶磁器製食器は岐阜県土岐市の食器粉砕専用のプラントを設置している工場に食器原料として運び、砂状にします。

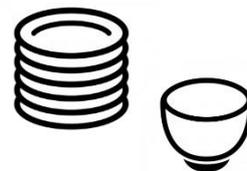
また、粉砕する時には、細かい網目(ふるい)を通すため、汚れ(ほこりを含む)は、この網目をふさいでしまう場合があり、資源化の効率が悪くなります。

ご自宅で洗って乾かしてお持ちください。長く食器棚の中にしまっていたり、箱に入れたままの新品の食器も必ず確認してからお持ちください。「その場で食事ができる」を合言葉に回収しています。汚れている食器はお持ち帰りいただいています。

なお、センターの水道を使用して洗浄することはできません。汚れがとれないものや対象外の食器は各市のルールに従って処分してください。

◆なぜ？ その3

どうして陶器なのに食器だけが対象なの？



答え

エコにこセンターで回収した陶磁器製食器は再び食器の原料になります。というより、もっともグレードの高い原料づくりを目指しています。食器は直接、人の口や食べ物が触れるため、衛生面で心配のない作り方をしています。

グレードの高い原料は、たとえ食器にならなくても用途はいろいろありますが、逆に、花瓶や灰皿、衛生陶器(便器など)などが入ってしまうと、食器の原料にすることはできません。

食器リサイクルは全国でも例の少ない事業です。私たちの地域が模範になるようにご協力をお願いいたします。

◆なぜ？ その4

どうして三市(八王子市・町田市・多摩市)の人しか持ってきちゃいけないの？

答え

エコにこセンターは、三市の施設です。ごみや資源の回収は自分が住んでいる自治体のルールに沿って、その自治体の回収に出します。隣の市の分別方法が便利だからといって、自分が住んでいない市にごみや資源を出すことはできません。



◆なぜ? その5

どうしてリユース食器は20円均一なの?いろいろな種類や大きさがあるのに。

答え

エコにこセンターの食器回収はリサイクルをメインにした事業です。したがってどんなに高価なものであっても、持ち込まれた食器は原則としてすべて粉碎します。しかし、新品や同等の食器は持ち込んだ人、使いたい人の両方から要望があり、ランク付けすることなく、リユース食器として販売することにしました。

なお、リユースせず、持ち込んだ食器すべて(新品も含めて)をリサイクルしてほしいという方もいらっしゃいます。回収を担当するスタッフが新品等の食器を持参された場合「リユースしてもいいですか」と尋ねるようにしていますが、全量リサイクルを希望する場合にはぜひ一言、声がけをお願いします。

◆なぜ? その6

どうして毎回アンケートを書くの?



答え

エコにこセンターは、八王子市・町田市・多摩市で構成する多摩ニュータウン環境組合の施設です。そこで、どの市の方にどのくらい利用していただいているのかを知りたくて回収をはじめたときからほぼ同じ項目で調査しています。ご協力をよろしくお願いいたします。

◆なぜ? その7

回収した食器で作ったお皿やカップはどこで買えるの?

答え

回収した食器を原料の一部に使用した食器を「Re 食器」と呼んでいます。岐阜県東濃地方の美濃焼生産者が中心となって家庭で気軽に使用できるデザインの食器を作っています。

エコにこセンターでは、これら「Re 食器」の普及にも積極的に取り組んでいて、館内にコーナーをつくり、展示販売を行っています。

裏にエコマークがついていたり、回収食器の含有率を示す表示や「Re」のマークがあるものも多く、食事やお茶の時間の話題にさせていただけるととてもうれしいです。

また、「Re 陶土」を使った作陶体験として、こうさくの時間“陶芸”、親子陶芸体験教室の他、「おとなのための工作教室」では、講師の指導を受けながら豆皿などを作陶するプログラムもあります。「Re 陶土」は5kg単位で販売していますが、事前に購入希望量と来館日をお知らせください。



予告 食器リサイクルフォーラム 10月27日(日)

食器リサイクルに興味をお持ちの方対象に開催する情報交流会(共催 食器リサイクル全国ネットワーク)です。詳細は決まりしだい、ホームページ等でお知らせします。

清掃工場だより

新元号『令和』に改元されました。皆さんもそれぞれ思いを感じながら、この新しい時代の始まりを迎えていらっしゃるのではないかと思います。

私ども多摩ニュータウン環境組合も『令和』となったこれからの時代、今まで以上に地域の皆さまをはじめ、市民の方々に一層の信頼を頂けるような運営に努めてまいります。また、引き続き「環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場」の経営方針のもと、今年も様々な地域への繋がりを進めていきたいと思っております。

夏休みとなる時期には多摩清掃工場にある100メートルの煙突に登る企画「煙突のぼりにチャレンジ」や「子ども清掃工場見学会」を予定しています。また、地域交流事業「たまかんフェスタ」も10月に開催する予定です。そのほか様々な企画、機会を通じまして多摩清掃工場へのご理解を頂く工夫をすすめてまいります。

昭和から平成と歴史を刻んだ多摩清掃工場。令和となったこれからも“多摩ニュータウン環境組合多摩清掃工場”をどうぞよろしくお願ひいたします。

***** 多摩ニュータウン環境組合多摩清掃工場

5月に申込みする3R講座

すべて事前申込が必要です。時間や内容はお問い合わせください。

講座名	日にち	費用(円)
さき織り体験教室	5/9・23 6/6・20 7/4・18<すべて(木)>	1000
お花の教室	5/10・24 6/14・28 7/12・26<すべて(金)>	1000
Tシャツぞうり教室	5/19(日) 6/7(金) 7/2(火)	700
おとなのための工作教室	6/13(木) 一輪挿し(陶芸)	700
	6/27(木) モザイクアート	500
	7/11(木) 布小物	500
せともの繕い教室	6/15(土)	1000
親子陶芸体験教室	7/21(日)小学生親子対象 ※2人1組の費用 1人増えるごとに +800円	※1300

5月開催の講座は3月から、6月開催の講座は4月から申込みを受付けていますので、すでに定員に達している講座もあります。ただし、初めての方は優先的に受講できる場合もありますので、興味を持ったらお気軽にお問い合わせください。

◆エコにごマーケット(エコマ)のお知らせ

ガレージセール感覚の“小さなフリマ”です。第4土曜日と翌日の日曜日(8月はお休み。10月は第3)の10時~15時に開催しています。出店できるのは八王子市・町田市・多摩市在住の方。詳しくはお問い合わせください。

開催日(5月~7月)

5月25日・26日 6月22日・23日 7月27日・28日

編集発行 多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター

ニックネーム エコにごセンター (10時~17時 月曜休館)

エコにごセンターは、八王子市・町田市・多摩市で構成する多摩ニュータウン環境組合の施設です。

センターの運営業務は特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦が受託しています。

TEL 042-374-6210 FAX 042-374-6214 206-0035 多摩市唐木田 2-1-1

メール recycle@tama-seisokojo.or.jp HP <http://www.tama-seisokojo.or.jp>

ツイッター「タマちゃん@エコにごセンター」 <https://twitter.com/econico1>

★このニュースは再生紙を使用しています★

